

令和3年度の教育活動等に関する学校評価

教育目標：1)保育内容の充実、2)大学・地域との連携、3)幼稚園運営の強化

九州女子大学附属自由ヶ丘幼稚園

No.	基本目標	〔業務事業〕 具体的施策	今年度の取組に対する自己評価	学校関係者の評価
1	保育内容の充実	〔幼稚園教育の質の向上〕 P D C Aサイクルの確立 全体研修・個人研修の推進 幼小連携の推進	月案・週案を提出し、評価をすることでP D C Aサイクルを確立した。全体研修は姉妹園との大学の講師によるP C 研修・各園での課題についての研修を行った。個人研修は自分の課題に沿ったコロナ禍でのリモート研修を行った。また、新任教諭は新任研修を1年かけて行い、学んだことを保育に活かしながら取り組んだ。小学校交流については、コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となり、訪問は行っていないが、小学校との連絡会を電話等やZoomで行い引継ぎをした。	リモート研修を最大限利用して個人課題に沿った研修や、全体の研修を行い保育の質の向上につとめていると感じた。コロナ禍の中で小学校訪問ができないが、園児一人ひとりの状況を小学校に引き継いでいるのは大切だと思う。
		〔園の特色を生かした教育課程の編成〕 学年会議の開催 次年度カリキュラムの決定	毎週1回学年会議を行い、前週の評価・次週の計画について話し合い保育計画を立てた。また、学期末に教育課程を見直していった。コロナ禍で自由登園も多く、少しずつ訂正を加えながら次年度へ向けてのカリキュラムを準備していった。	コロナ禍で自由登園になり、登園している園児が半数に減ったことで保育計画の進行が難しい中次年度へ向けてのカリキュラム等検討し、向上心が見える。
3	大学・地域との連携	〔学園設置大学との連携の充実〕 体操教室・リトミックの実施 学生との連携の実施 大学教員とのコラボ研究の実施	正課の体操教室とリトミックはコロナウイルスの感染状況を見ながら、自由登園の中でも行い拡大の様子が見られた時に中止とした。一年を通してほとんど行えたように思う。しかし、自由登園での出席人数が半数になった為、全園児まんべんなく行えたとは言えない。学生ボランティアも前半はできたが、後半になりやはり感染拡大防止の観点から中止とした。大学とのコラボ研究は大学との調整が難しく行えていないが、次年度に向けた準備をした。	コロナ禍の中でできないことを諦めずに教育活動を止めることなく健康・行動に気を配り学園設置大学との交流に努め日々工夫し、保育していると感じる。自由登園になった際には正課等リモートを取り入れ実施して欲しい。
		〔地域との交流の推進〕 田植え・稲刈りの実施 餅つきの実施 八幡図書館折尾分館との交流 地域内・姉妹園との交流	田植えをすることができたが、稲刈りは感染が拡大した状況にあった為教師が代わりに収穫し、子ども達に稲を届けた。餅つきについては中止とし代わりに獅子舞を行った。年長組は獅子舞を見学した後に地域の神社に初詣に行った。今後神社との交流も深めたい。八幡図書館折尾分館からは、未就園児教室に読み聞かせに出向いてもらい、交流を図った。地域内の小規模保育園や姉妹園との交流は感染拡大防止の観点から中止となった。	感染状況により行事が中止・延期になるのは残念であるが代替え案等工夫して取り組んでいる。地域との交流は相手がある事で難しい事ではあるが少しずつできることを見つけてコツコツとやって欲しい。また、状況が落ち着けば姉妹園との交流等も行って欲しい。
5	幼稚園運営の強化	〔園児募集・広報の強化〕 H P での積極的な情報発信 未就園児教室の充実 預かり保育・子育て相談の実施	H P は月に一度の更新を目指し幼稚園の様子を発信してきた。自由登園が長かったため、その期間の発信ができず内容の充実とはいかなかった。未就園児教室は、コロナウイルス感染拡大により参加者が減ったが、少ないながらも内容は充実していた。参加者減少の為、今年度初めて入園説明会を行った。未就園児教室に来たことがない方もこの説明会から入園につながった。預かり保育はコロナ禍で密を避けるため仕事を持つ母親限定となっているが、自由登園の最中も市や県の要請により積極的に行って来た。子育て相談は一年を通して窓口を開き、様々な相談を受けた。	緊急事態宣言等で普段の保育ができなくなり、未就園児教室にも影響が出た中、説明会を開催するなどの努力が認められる。また、H P 以外にもインスタグラムで園の様子を発信するなど工夫が見られる。
6		〔安全対策の徹底〕 運転員の研修の実施 園児の交通安全教室の実施 戸外活動・災害時の安全対策 遊具の点検・建物の点検 職員に対する危機管理の研修	園児の火災や地震を想定した避難訓練や、不審者対策での防犯訓練を定期的に行った。年長組は小学校登校を見据えドライビングスクールでの交通安全教室を行った。小さい組に関しては防犯訓練と一緒に折尾警察署交通課の方からの交通安全教室を行った。戸外活動では常に安全に気を付けながら何度も人数確認を行いながら取り組んだ。建物の点検は常に行い、不具合があるところがあれば管財施設課を通して業者に点検・修理をしてもらった。職員に対しての危機管理研修は、他の幼稚園・保育園の危険な事故等を我が身に置き換えた研修をその都度行った。	避難訓練や防犯訓練・交通安全教室等安全についての教育がきちんとなされている。戸外活動も数多くあるが、その時々での安全対策等考えてあると思う。今後も戸外・室内共に安全に気を付けながら楽しんで欲しい。